



## 第16回常任理事会

**日時** 平成19年11月13日(火) 18:05~20:24  
**場所** 北海道医師会館9階・理事会室  
**出席者** 長瀬会長、三宅・畑各副会長、榊山・山本・北野・渡辺・三戸・小山・目黒・原田・藤原・深澤・西里・直江・橋本各常任理事、高木・水元・中村各監事  
(事務局：島影事務局長ほか12名)

### 協議事項

**第1号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(渡辺常任理事)**  
(決定)

申請のあった日医生涯教育講座33件、道医認定生涯教育講座37件、合計70件を承認する。

### 報告事項

**1. 医療安全研修会[9月12日(水)・室蘭市、他2件]について(橋本常任理事)**

損保ジャパンリスクマネジメント社のコンサルタント2名を講師に迎え、ワークショップ「背景要因分析ワークショップーインシデントレポート分析基礎ー」を室蘭、滝川、名寄の計3回開催した。参加者アンケートを実施し、約90%の参加者が今後もワークショップを続けて欲しいとの回答を得るなど、好評であった。

**2. 新聞各社との懇談会[10月24日(水)]について(藤原常任理事)**

新聞各社の医療を担当する記者の出席(道新3名、読売1名、朝日1名、毎日2名、日経は欠席)により懇談会を開催した。長瀬会長の挨拶、自己紹介に引き続き、小職から医療に関する日本の現状ならびに北海道の現状と問題点について説明を行った後、懇談に入り、意見交換を行った。

**3. 札幌市医師会北区・東区・西区・手稲区支部合同研修会[10月24日(水)]について(直江常任理事)**

「総合医・総合科、後期高齢者医療制度」のテーマで、経緯、背景、現状、今後の問題点等について、関連資料を各種提示して講演してきた。参加者は約80名であった。

**4. 医療経済フォーラム・ジャパン第6回公開シンポ**

ジウム[10月25日(木)・東京都]について

(直江常任理事)

「診療報酬改定と後期高齢者医療制度」をメインテーマに、厚労省保険局・原医療課長による基調講演、水野医事評論家(フォーラム副会長)を座長に、財務相主計局・新川厚労省予算担当企画官、日医・竹嶋副会長、国保中央会・田中理事、慶大大学院・中村教授によるシンポジウムが開催された。原課長は、次回診療報酬改定では医師不足対策を重視したいとした。田中理事の登録主治医制の提案には、竹嶋副会長がフリーアクセスを阻害することになると強く反論した。参加者は約550名であった。

**5. 第45回日本病院管理学会学術総会[10月25日(木)~26日(金)・横浜市]について(北野常任理事)**

横浜市立大学附属病院医療安全管理学の橋本廸生教授が会長となり、「管理学の視界ー組織経営の合理性の追求から個への支援までー」をテーマに開催された。特別講演、教育講演、パネルディスカッションなどが行われた。参加者は940名であった。次回は平成20年11月15日(土)~16日(日)静岡で開催される。

**6. 渡島地域保健医療福祉連絡協議会研修会[10月27日(土)・函館市]について(三戸常任理事)**

制度の概要について、北海道保健福祉部・砂山主幹から説明をいただいた後、小職から医師会、医療機関の役割と、今後の対応等について説明を行った。質疑応答では従来の健診と今後スタートする特定健診の違い、その周知方法について質疑応答があった。

**7. 第3回北海道禁煙フォーラム・10周年記念式典[10月27日(土)]について(山本常任理事)**

日本禁煙推進医師歯科医師連盟北海道支部との共催により開催した。冒頭、創立10周年を迎えた連盟道支部の佐野支部長より、支部の10年の歩みについて報告がなされた後、「札幌市のたばこ対策」「タバコ規制の世界の動き」と題した2講演、「禁煙運動の30年の歩み」と題した黒木弁護士による記念講演が行われた。

**8. 第117回日本医師会臨時時代議員会[10月28日(日)]について(三宅副会長)**

唐澤会長の挨拶、竹嶋副会長の会務報告の後、平成18年度決算4議案と「平成19年度がん医療における緩和ケアの意識調査等事業特別会計予算の件」が上程され、宝住副会長の説明後、それぞれ決算・予算各委員会の審議に付されたが、提案どおり可決決定した。質問はブロック代表8件、個人13件があり、北海道ブロックでは、山光代議員が「療養病床の再編について」と題し代表質問を、山代議員が「公益法人制度改革について」と題し個人質問を行った。

**9. 第2回北海道後期高齢者医療広域連合運営懇話会[10月29日(月)]について(長瀬会長)**

10月に2回の運営懇話会が開催され、各団体から意見聴取が行われた。これを受けて北海道後期高齢者

医療広域連合広域計画案を作成し、11月22日に第1回の定例議会により反映されることになる。今後この懇話会は、協議会として充足する。

#### 10. 特定健康診査・特定保健指導に関する研修会[11月1日(木)・旭川市]について(三戸常任理事)

はじめに、小職から制度を含め基本的な項目について説明し、その後医師会・医療機関の役割等について説明をした。続いて旭川市保険課・田中係長から、市が考えている健診方法、外部委託の考え方、委託料金の算定基礎等について説明があった。質疑応答では、委託料金算定についての根拠、医療機関に受診する市民への利便性等について意見交換が行われた。

#### 11. 社会保険医療指導委員協議会[11月3日(土)]について(西里常任理事)

「保険診療上のルールと保険指導・監査」「保険診療上の留意事項(内科系、外科系)」ならびに日医社保指導者講習会「厚生労働省からの伝達事項」「平成20年度診療報酬改定」について、小職と担当役員より郡市医師会各委員に対し説明し、協議した。

#### 12. マンモグラフィ読影医師講習会[11月3日(土)～4日(日)]について(三戸常任理事)

昨年度に引き続き、第2回マンモグラフィ読影医師講習会を、当会と道の主催、精中委との共催により、札幌市にて開催した。2日目に試験が行われ、49名中16名(33.3%)の医師が、精中委のA・B評価となった。

#### 13. 保険医療医師研修懇談会[11月7日(水)・北見市、他3件]について(西里常任理事)

各会員が保険医療に関する理解を深め、より適正な保険診療を実践していただくことを目的に、平成14年度より全道各地に赴き開催しているが、今年度は北見市はじめ4地区、5医師会の会員を対象に開催した。「保険診療のルールと保険指導・監査」「保険診療上の留意事項」について、担当役員より説明した後、意見交換を行った。受講者は延べ144名(病院医師34名、診療所医師110名)であった。

#### 14. 第57回全国学校保健研究大会[11月8日(木)～9日(金)・高松市]について(榊山常任理事)

香川県高松市において開催された。初日の8日には文部科学大臣表彰の表彰式が行われ、学校医53名を含む146名と38の学校並びに2団体が表彰を受けた。来年度は11月6日(木)・7日(金)の両日、新潟市にて開催される。

#### 15. 医療の改善活動全国大会[11月9日(金)～10日(土)・長野市]について(橋本常任理事)

佐久総合病院の夏川院長が大会長を務め、全国医療機関の医療における改善事例の発表が行われた。北海道からは3病院が改善事例を発表したが、それぞれに工夫が図られていた。特別講演として、前滋賀大学の宮本憲一学長から、地域再生と病院の役割についての話があり、特にメディコ・ポリス(新しい

地域発展)の整備については、北海道においても参考になると思う。

#### 16. 第38回全国学校保健・学校医大会[11月10日(土)・高松市]について(三戸常任理事)

「やさしい心、元気なからだー子どもの瞳に輝きをー」をメインテーマに開催。午前中の4分科会の後、午後より「子どもの生活習慣病・メタボリックシンドローム」「四国で甦る心と身体」の2題の特別講演が開催された。20年度は11月8日(土)に新潟市において開催される。

#### 17. 日医各委員会報告

##### (1) 地域医療対策委員会[10月31日(水)]について(藤原常任理事)

「地域医療確保のための今後の課題」として9項目を取り上げた内容の最終報告書素案について検討した。また、都道府県医療対策協議会の現状について報告があった。

##### (2) 救急災害医療対策委員会[11月7日(水)]について(目黒常任理事)

委員会報告書案について協議を行い、その後、東京消防庁救急相談センターの実績および救急搬送時間が延長している現状等について報告があった。

##### (3) 公衆衛生委員会[11月7日(水)]について(山本常任理事)

特定健診・特定保健指導に関わる集合契約の成立に向けた概要説明の後、会長諮問「健診・保健指導における医師会の役割」についてのフリートーキングを行った。

#### 18. 外部各委員会報告

##### (1) 広域特別支援連携協議会[10月18日(木)]について(西里常任理事)

委員長に北翔大学の佐藤満雄教授、副委員長に北海道特別支援学校長会の鈴木重男会長を選出。その後、本道における発達障害を含む障害のある幼児・児童生徒に対する教育的支援の充実ならびに支援体制の整備促進のための諸事業についての説明を受けた。

##### (2) 北海道職業病対策協議会[10月25日(木)]について(畑副会長)

会長に北海道大学大学院・藤田博美医学研究科教授、副会長に中央災害防止協会北海道安全衛生サービスセンター・樺沢敏行所長の選出の後、現在の職業性疾病の状況、対策について行政機関2団体、学識経験者4団体、労働者側1団体から報告された。意見交換は「長時間労働における健康障害防止対策」「健康診断の適正な実施とその後の健康管理対策」について活発な意見交換がなされた。

##### (3) 北海道医療審議会第1回医療法人部会[10月25日(木)]について(畑副会長)

設立認可申請は、病院2件、医科診療所9件、

解散認可申請は、病院1件、医科診療所7件全て『可』とされた。また、非医師による理事長就任は、病院2件で『可』された。

(4) 第2回脳卒中の医療連携に関する専門家懇談会[10月29日(月)]について(藤原常任理事)

脳卒中の医療連携体制の医療計画素案文、医療機能調査結果(圏域別医療機能の状況、受け入れ体制、検査、治療実施状況、救急医療の状況等)、急性期医療、慢性期医療、今後の方向について詳細に検討した。

(5) 第2回急性心筋梗塞の医療連携に関する専門家懇談会[10月30日(火)]について

(橋本常任理事)

急性心筋梗塞の医療連携体制の医療計画素案文、医療機能調査結果(圏域別医療機能の状況、受け入れ体制、治療実施状況等)、今後の方向について詳細に検討した。

(6) 第1回過疎地勤務医総合臨床研修運営委員会[10月31日(水)]について(畑副会長)

委員長は名寄市立大学・久保田宏学長、副委員長に小職が選出された後、北海道総合医養成プロジェクトに関して、平成19年度の総合医養成支援事業計画とその事業に係る中間評価、平成20年度の総合医養成支援事業実施に向けた補助要領の見直しなどを協議した。また、過疎地勤務医総合臨床研修運営委員会に関して、総合医育成研修産科医師派遣状況、総合臨床研修(短期研修)事業につき検討した。

(7) 第2回糖尿病の医療連携に関する専門家懇談会[11月7日(水)]について(畑副会長)

糖尿病の医療連携体制の医療計画素案文、医療機能調査結果(圏域別医療機能の状況、受け入れ体制、治療実施状況等)、今後の方向について詳細に検討した。連携体制の道庁ホームページへの掲載については見合すこととした。

(8) ドクターヘリ運行調整委員会事後検証部会[11月12日(月)]について(目黒常任理事)

部会長に小職が選出された後、2006年度ドクターヘリ運航実績報告書(案)について協議を行った。

(9) 北海道衛生検査所精度管理専門委員・北海道精度管理システム運営委員会合同委員会[11月12日(月)]について(原田常任理事)

平成18年度の衛生検査所立入検査実施結果と外部精度管理調査実施結果について報告があり、その後、平成19年度の衛生検査所立入検査実施計画(案)と外部精度管理調査実施計画(案)について協議した。

19. 各部報告

(1) 第5回学術部担当理事会[11月1日(木)]について(渡辺常任理事)

日医・道医認定生涯教育講座助成金申請、医

学会助成金申請について、各々助成基準に基づき審査の上、いずれも承認決定した。また、同講座申請提出期限については、期日を過ぎる事例が増えていることから、実施要領のとおり「講座開催日45日前」を遵守するよう道医報などを通じ周知することとした。道医直轄の日医生涯教育講座については、10月に引き続いて「BLS・気道確保とAED」を年度内に再度実施することを決定した。「指導医のための教育ワークショップ」については、今年度北海道が当会の実施予定と近い時期に札幌で開催する予定であることから、当会との共催開催が可能かどうか調整することとなった。また、北海道医学大会がより盛会となるよう、同大会で贈呈される北海道医師会賞の内容等について、検討していくこととなった。

(2) 第3回地域保健部担当理事会[11月5日(月)]について(三戸常任理事)

特定健診・特定保健指導に関する北海道医師会の今後の対応について、打合せを行った。

(3) 第1回総務部担当理事会[11月12日(月)]について(深澤常任理事)

定款施行規則第23条「無投票当選」の取扱い、裁定委員会関係事項、平成20年度予算編成に関わる理事会室の会議システム更新等について検討を行った。

20. その他

(1) 第3回都道府県医師会長協議会[平成20年1月22日(火)]の提出議題について(深澤常任理事)

(2) 医療計画のたたき台について(直江常任理事)

## 第17回常任理事会

日時 平成19年11月27日(火) 18:01~20:22

場所 北海道医師会館9階・理事会室

出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、榊山・山本・北野・渡辺・三戸・小山・目黒・原田・藤井・藤原・深澤・西里・直江・橋本各常任理事、高木・中村各監事  
(事務局：島影事務局長ほか12名)

協議事項

第1号 北海道洞爺湖サミット交通対策推進協議会(仮称)委員・幹事の推薦に関する件

(深澤常任理事)

〈決定〉

委員に深澤常任理事、幹事に菊田次長を推薦する。

第2号 平成20年北海道医師会新年交礼会の開催に関する件(深澤常任理事)

〈決定〉

平成20年1月5日(土)午後6時30分から札幌グランドホテルで開催する。

**第3号 北海道医師会職員給与規程等の一部改正に関する件（深澤常任理事）**

**〈決定〉**

人事院勧告に基づき北海道人事委員会が毎年改定する給与表を平成20年4月から採用すること、併せて職員給与規程別表第2の乙「職務の等級分類基準表」を改正する。

**第4号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡辺常任理事）**

**〈決定〉**

申請のあった日医生涯教育講座17件、道医認定生涯教育講座11件、合計28件を承認する。

**第5号 その他**

**(1) 12月行事予定に関する件**

**〈決定〉**

提案どおり承認決定。

**報告事項**

**1. 糖尿病等生活習慣病予防のための人材育成研修会[10月12日（金）～14日（日）、他2件]について（三戸常任理事）**

特定健康診査・特定保健指導におけるガイドラインに基づく研修会として、標記研修会が前期3日・後期2日の計5日間の日程で開催され、全道より管理栄養士・保健師の方々147名が受講され、規定のプログラムを修了された141名の方々に修了証が交付された。

**2. 第4回医学部学生と女性医師の語る夕べ[11月9日（金）]について（藤井常任理事）**

旭川市医師会女性医師部会主催で当会・日本医師会男女共同参画委員会共催のもと、「医師として生涯働き続けるために」をテーマに旭川医大講義実習室で開催された。長瀬会長ほか3名の挨拶に続き、「旭川医大におけるサポート体制“二輪草プラン”について」「女性医師のサポート体制の現状と問題点」に関しての講演がそれぞれ行われ、質疑応答がなされた。その後、小グループに分かれ医学生と女性医師の懇談が行われた。参加者は59名。

**3. 都道府県医師会広報担当理事連絡協議会[11月15日（木）]について（長瀬会長）**

唐澤会長挨拶の後、長瀬広報委員会委員長の委員会審議報告、続いて中川常任理事から「日医の広報活動について」報告があった。また、橋本直彦（株）博報堂MD戦略推進局局長代理による「国民と共に日本の良質な医療を守る医師会の広報施策の現状と今後に向けて」の講演が行われた。協議では、各医師会の対外・対内広報について意見交換が行われ、最後に宝住副会長が総括し閉会した。

**4. 北海道臨床研修病院等連絡協議会・北海道ブロック臨床研修制度協議会合同会議[11月16日（金）]について（渡辺常任理事）**

北海道厚生局より、「平成19年度マッチング結果」と「新医師臨床研修制度」に関する報告および連絡

が行われ、また、北海道保健福祉部からは2007年臨床研修病院合同プレゼンテーションの結果および2008年の予定として、札幌市と東京都のほか大阪府でも開催する予定である等の報告があり了承された。本年度マッチャー総数は前年度比25名増の325名で、大学病院は前年度比34名増の141名、臨床研修病院は9名減の184名となった。

**5. 医政講演会[11月17日（土）]について**

**（直江常任理事）**

帝京大学医学部・大村昭人名誉教授を招聘して、「医療立国 崩壊する医療制度に歯止めをかける！」と題する講演を聴講した。当会およびテレビ中継した小樽市医師会ほか4会場の聴講者は合計71名であった。

**6. 第3回医療政策等検討委員会[11月18日（日）]について（直江常任理事）**

「北海道医療計画（仮称）素案」について各委員に意見を求めた。委員からは、計画素案（たたき台）には理念が欠けるとして、医師不足が原因で救急体制が維持できない各地の窮状などが報告された。また、道が示した30区域の自治体病院等広域化・連携構想について21の二次医療圏との整合性や「北海道地域ケア体制整備構想（案）」に関する意見があった。

**7. 産業保健活動推進委員会第2回小委員会[11月19日（月）]について（小山常任理事）**

うつ病のガイドライン活用、連携体制の構築、2次医療機関の応諾体制について検討した。また、産業保健活動推進委員会小委員会が検討している「うつ病に関する研修会」を、今年度札幌市で開催の予定（3月）。

**8. 介護保険制度・障害者自立支援法にかかわる主治医研修会[11月21日（水）・札幌市他]について**

**（原田常任理事）**

今年度も昨年同様、標記主治医研修会を合同で開催した。札幌を基点として小樽市、北見市、帯広市、釧路市の5か所を11月21日に同日開催。そのほか、岩見沢市、室蘭市、稚内市、函館市、旭川市、苫小牧市の6か所を10月上旬から11月上旬にかけて各々現地で開催した。受講者総数は昨年比389名減の633名であった。

**9. 第3回ICLS（ACLS基礎）研修会[11月23日（金・祝）]について（目黒常任理事）**

学術部で開催している「BLS・気道確保とAED」受講者を対象に、ACLS北海道の協力を得て実施した。受講者23名が、講師陣の指導のもと「BLS/AED」「気道管理」「モニタ・電気ショック」などの実技を6ブースに分かれて行った。

**10. 時局講演会[11月23日（金・祝）]について**

**（直江常任理事）**

原 徳壽厚生労働省保険局医療課長を講師として招請し「平成20年度診療報酬改定にむけて」と題して講演いただいた。

## 11. 医療の質・安全学会第2回学術集会 & 国際シンポジウム[11月23日(金・祝)～25日(日)]について

(山本常任理事)

「21世紀の医療と医療システムを求めて」と題して、東京国際フォーラムにおいて開催された。会長は、学会発足以前から医療安全のシステムに取り組んできた東北大学の上原鳴夫教授。年々参加人員が増加し、医療の安全についての関心が深まってきている。今回は、「命を護るパートナーシップ-Partners to Protect Patients」の実施が提案され、医療安全全国共同行為として日本医師会の木下常任理事から全面協力をするとの説明があった。

## 12. 医業経営講習会[11月24日(土)]について

(橋本常任理事)

今年の講習会は、(株)日本医療総合研究所取締役社長・中村十念氏を講師に迎え、札幌会場から道内8カ所のTV中継会場に発信した。講演は、『危機をチャンスに～サバイバルのための減収増益戦略～』と題し、受診件数は増加しているが、在院日数は減少していることの意味など、統計資料を基に詳細な説明がなされた。

## 13. 勤務医部会全体会議[11月25日(日)]について

(北野常任理事)

各担当者より、日医勤務医委員会、日医男女共同参画委員会、第3回男女共同参画フォーラム、全国医師会勤務医部会連絡協議会について報告があった。また、当会の畑副会長から「北海道における医師不足の現状・課題・対策」と題して、話題提供を行い、その後、質疑応答がなされ、活発な意見が出された。

## 14. 病院管理研修会[11月25日(日)]について

(北野常任理事)

当会と北海道病院協会共催による病院管理研修会を、札幌会場をメイン会場として8会場にTV会議システムを利用して開催した。今回、「療養病床再編と地域ケア整備構想への対応策～慢性期医療の方向性と永生病院の経営戦略～」をテーマとし、医療法人社団永生会永生病院院長・飯田達能先生に講演をいただき、各会場からは質疑応答が行われた。参加者は、延べ175名であった。

## 15. 北海道保険者協議会との集合契約に関する打合せ[11月26日(月)]について(三戸常任理事)

北海道保険者協議会より、特定健康診査・特定保健指導に関し当会と集合契約を結び実施したいとの申し出があり、その基本的な考え方について説明を受けた。集合契約を結ぶことについては基本的には了承するが、複数の参加保険者との間で単価が統一可能か等の問題もあるため、ある程度、形が整った時点で、再度説明を受けることとした。

## 16. 札幌市医師会豊平区・清田区支部合同医政研修会[11月26日(月)]について(三戸常任理事)

小職から特定健康診査・特定保健指導の制度を含め基本的な項目について説明した後、本制度と札幌

市のすこやか健診、電子媒体への対応等につき意見交換を行った。

## 17. 日医各委員会報告

### (1) 医事法関係検討委員会[10月26日(金)]について(西里常任理事)

医師・患者関係の法的検討について、特に医師法第19条の応召義務の改善やクレーマー対策、暴力患者対策などのガイドライン作成に向けた答申案を作成することになる。次回の委員会は12月7日(金)に開催される。

### (2) 定款・諸規程検討委員会[11月9日(金)]について(宮本副会長)

委員会報告案について検討を行った。

### (3) 勤務医委員会[11月9日(金)]について

(直江常任理事)

平成21年度全国医師会勤務医部会連絡協議会の担当が島根県に決まったほか、11月30日(金)に開催される都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会の議題等について検討した。また、答申作成に向け、前回各委員から出された意見等をもとに協議し、執筆者を決めた。12月末までに素案を作成し、明年2月頃に日医会長に答申する。

### (4) がん対策推進委員会がん検診小委員会[11月14日(水)]について(畑副会長)

がん検診のあり方、課題について協議を行った。なお、この委員会は、明年3月までの暫定的なもので、4月に正式な委員会として立ち上げ、がん検診等について議論していくことになっている。

### (5) 広報委員会[11月15日(木)]について

(長瀬会長)

答申書最終案を検討した。日医ホームページをリニューアルしたが、今後さらに動画配信を計画している。

### (6) 介護保険委員会[11月15日(木)]について

(原田常任理事)

天本常任理事より、第44回社会保障審議会介護給付費分科会において、転換する老人保健施設と既存の同施設との整合性等の議論の中で、療養室の面積に係る経過措置について延長の要望をしてきたこと、また、厚労省側から、医療法人の特養老人ホームの設置を見送るとの説明があったことなどの報告が行われた。各委員の提出議題として、小職からは先般実施した「療養病床転換意向等アンケート調査結果」および「北海道の療養病床数の考え方(案)」の資料を提出し、現時点での報告説明を行った。当委員会への会長諮問に対する答申のとりまとめについては、日医が本年1月に発表した「在宅における医療・介護の提供体制-『かかりつけ医機能』の充実-」指針で示された将来ビジョンを支える

3つの考え方と7つの提言を軸に、地域ケア体制の整備について地域医師会や医師が取り組む課題について、これまで検討した結果と今回の議論を踏まえ、整理の上、答申することとなった。

## 18. 外部各委員会報告

### (1) 新しい北海道歯科保健医療推進方策策定委員会[10月31日(水)]について(藤井常任理事)

各市町村における歯科保健対策実施状況についての調査結果について報告を受けた後、新しい北海道歯科保健医療推進方策のたたき台について意見交換を行った。

### (2) 北海道地域ケア整備・療養病床再編検討委員会[11月16日(金)]について(西里常任理事)

三宅座長の挨拶に続き、前回の委員会での審議結果を踏まえて作成した北海道地域ケア体制整備構想素案および前回提出を求められていた病床規模別等の転換意向数のアンケート結果について事務局より説明が行われた。同素案の審議においては、「北海道独特の道民意識」「地域での生活を支えるための具体的方法」「介護・看護職の必要人数」等について、整備構想に記載した方が良いのではないかなど、種々意見が出された。その結果、素案を承認し、同素案を第4回定例道議会特別委員会へ報告、同議会での議論を経て、今月28日から1か月間、パブリックコメントを実施し、各々から出た意見と当委員会での意見を踏まえ、来年1月中旬に本委員会を開催して原案を協議、2月上旬に道議会への報告を経て最終的な整備構想を作成することとなった。

## 19. 各部報告

### (1) 総務部・医療政策部合同担当理事会[11月13日(火)]について(直江常任理事)

「国民医療を守る決起大会」(12月5日・東京)への出席および「日本の医療を守る道民協議会第6回総会」(12月6日・当国会館)を開催することが了承された。

### (2) 第4回情報広報部担当理事会・第7回広報委員

### 会合同会議[11月13日(火)]について

(藤原常任理事)

当会ホームページのトップページのリニューアルデザインと、北海道医報投稿掲載基準内規の一部改正、さらに、平成20年1月1日号からの医報のデザイン・レイアウトの変更に伴う実施内容について決定した。

### (3) 第2回産業保健部担当理事会[11月19日(月)]について(小山常任理事)

本年度未執行业務につき検討し2月～3月に開催の予定とした。来年度はうつ病に関するガイドラインをもとに各地区でプライマリケア医・産業医を対象とした研修会を開催予定。

## 20. その他

### (1) 道新取材[11月22日(木)]について

(畑副会長)

### (2) 国民医療推進協議会のポスター・チラシについて(直江常任理事)

## 道総医協関連事項

### 1. 救急医療専門委員会[11月14日(水)]について

(目黒常任理事)

第三次救急医療体制(救命救急センター)の整備のあり方および本道における航空医療体制のあり方について協議を行った。

### 2. 地域医療専門委員会[11月19日(月)]について

(宮本副会長)

本委員会に3名の臨時委員を委嘱したことの報告があり、協議では、周産期医療小委員会委員の追加が承認された。その後、地方・地域センター病院等の整備方針、在宅医療ケアの充実について説明があり、意見交換を行った。

### 3. 第3回計画特別委員会[11月20日(火)]について

(宮本副会長)

「新しい北海道保健医療福祉計画(仮称)」の骨格案および「北海道医療計画(仮称)」の素案(たたき台)の策定状況について説明した。